

養学研06鳴滝分科会：

一人ひとりの社会的自立に繋がる力を育てる（12/25）

「自分のことは自分であるから楽しい」

生徒の自立と自律を目指す学校・大学の連携的実践研究から

望月 昭

（立命館大学文学部・応用人間科学研究科）

本日の内容

1. 自分ことは自分でする
2. セルフ・マネジメントということ
3. 学生ジョブコーチの中での
「セルフマネジメント」
4. 自分のことは自分でするから楽しい

1) 自分でする ≠ 裸一貫で単独でする

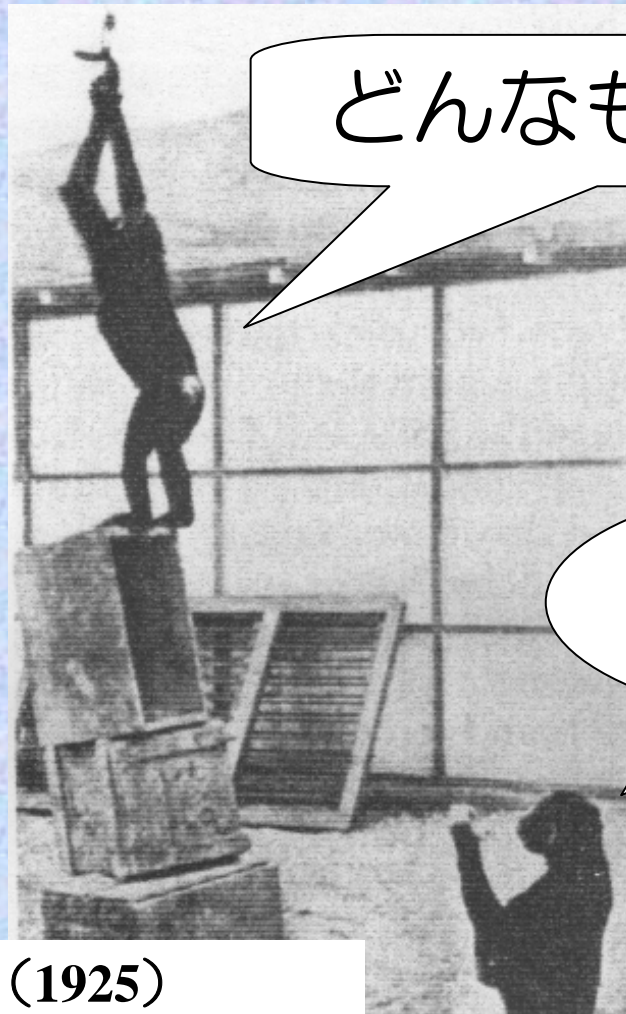
およそ、人の「行動」は社会的である。



先行刺激 — 反応 — 後続刺激
A B C

行動の成立条件である A, B, は、直接・間接に社会的なものである。その意味で、「援助」抜きでの行動は殆どない、と言えるくらいである。

1) 自分でできる ≠ 発達段階



どんなもんじゃ！

やったわね、

ウォルフガング・ケーラー（1925）
「チンパンジーの洞察学習」

2)ひとりでやる事も「援助つき」で

- 「ひとりでやる」:

環境を自分で変えて目的を達成する行動。

→ケーラーは、「チンパンジーだから『洞察学習』という人間に近い方法ができた」と主張。

後に、Epsteinがデンシヨバトで再現してみせた。

- 適切な「学習」を経験すれば、デンシヨバトでも同じことができる。
- ひとりでに出来るようになるのではない。周囲が適切な学習環境を整える必要がある。

2.セルフ・マネジメントということ

特に定義はないが、

「自分の行動遂行のための行動」

Q: チンパンジーの実験では？

人間の「すごい」とこ

自分で環境にない設定を、創作してしまう。

①セルフコントロール:

セルフマネジメントと似た概念であるが・・・
「がまんする」というのではなく、
「即時的小強化ではなく遅延する大強化を
選ぶ」という行動の事をさす。

禁煙から環境問題まで

Q:「根性つける」のではなく、何を教える？
セルフコントロールを「セルフマネジメント」
する行動を教える

②セルフマネジメント:自分の行動を 統制するための行動

- 1)「何を教えるのか？」ではなく、教科にせよ、
就労実習にせよ「どのように教えるか？」
にかかっている。

「セルフマネジメント」 VS 「他者管理」

身体的行動の場合:

社会的行動の場合:

2) セルフマネジメントの教授機会

課題が困難だったとき

- 1) 問題行動 → NOという行動、「教えて」という行動、要求言語行動を教える機会、
- 2) 自分の行動を積極的に統制する行動
 - ・自分の行動を評価する
 - ・自分の行動の先行刺激をつくる
 - ・メモ・ノート

留意点

- 自己管理行動が、行動そのものの向上によってフィードバックされて自律することが理想

でもその前に

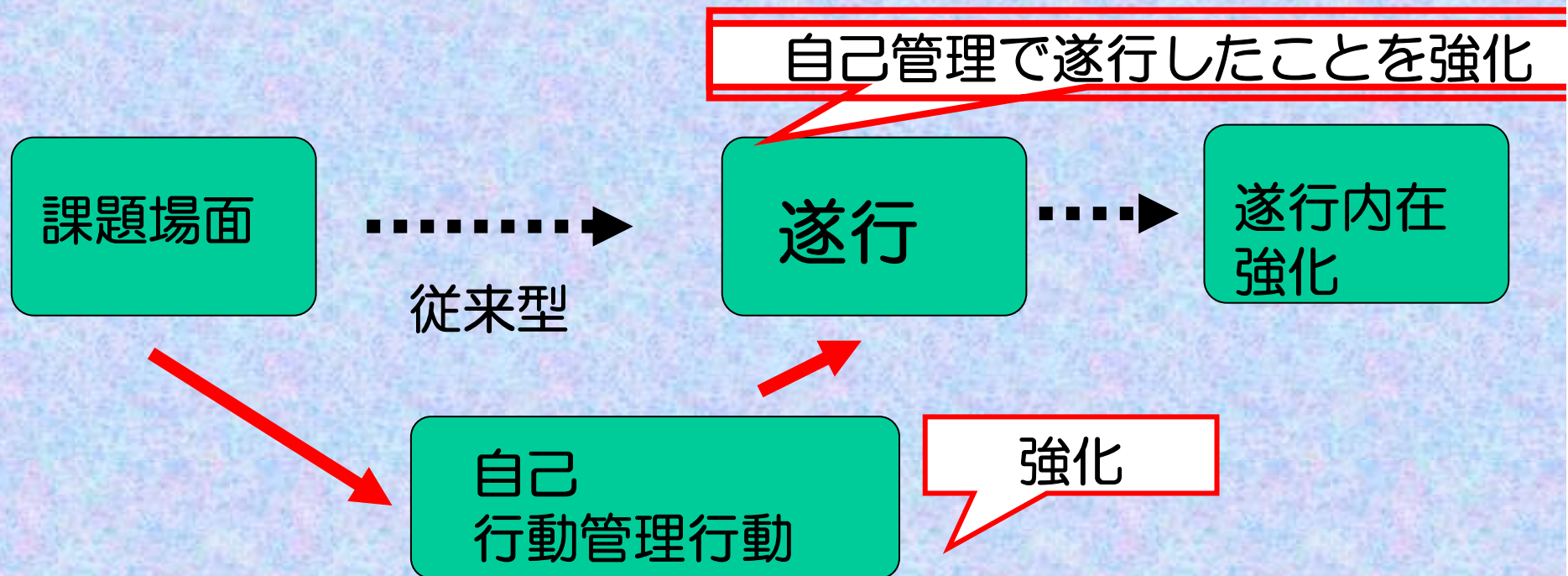
- そのサイクルに入るように援助・教授が必要である。

「メモなどをとる」「実習ノートを書く」:

そのことに対する社会的強化

「使えばうまくいく」ことを社会的強化

図にしますと……



よくある指導ミス：「そのくらい、すぐやりなさい」
これは、新しい（赤い線）の行動経路に罰を与えることになる。（メモ：フレイドアウトすべき援助設定ではない）

3. 学生ジョブコーチの中での セルフマネジメント

- 2004年～
- 「援助」「援護」「教授」の3つの対人援助行動の実践

1. チェックリスト
2. メモ
3. 金銭管理

1. チェックリスト

2. メモ

3. 金銭管理

表1

1.太田ら（2005）自己チェック（資料参照）

名前		作業 チェック表							
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
<small>けしやう すい いどう</small> 化粧水などを移動する 	おわった								おわった
	かくにん								かくにん
	JCのかくにん								JCのかくにん
カガミをふく 	おわった								おわった
	かくにん								かくにん
	JCのかくにん								JCのかくにん
<small>せんめんたい</small> 洗面台をふく 	おわった								おわった
	かくにん								かくにん
	JCのかくにん								JCのかくにん
<small>けしやう すい なら</small> 化粧水などを並べる 	おわった								おわった
	かくにん								かくにん
	JCのかくにん								JCのかくにん

2.ノートの使用

- 配布資料参照(松田)

3. 金銭管理

- 崔(2006):
- 「高等部生徒の賃金の管理に関する研究」
高等部3年生:就労予定
実際に金銭による報酬を受ける。
 - 1) 仕事内容と報酬のチェック
 - 2) 仕事量の要求
 - 3) 現金管理(ATM)の使用方法

表1 給料の確認

- 1 終わりましたと報告し，給料を受け取る
 - 2 中身を確認する
 - 3 今日行った仕事の数だけ250を書く
 - 4 計算し，合計金額を算出する
 - 5 あっていたかを確認する
 - 6 間違っていれば計算しなおす※
 - 7 間違っていることをいいに行く※
 - 8 自分が働いた金額を受け取りサインをする
-

表2 ATM（預入）

- 1 先に客がいたらその後ろに並ぶ
- 2 通帳を用意する
- 3 お金を用意する
- 4 機械の前に立つ
- 5 「預入」のボタンを押す
- 6 通帳を挿入口に入れる
- 7 硬貨の場合は「硬貨」を押す※
- 8 紙幣（硬貨）挿入受取口が開いたら、そこに用意したお金を入れる
- 9 お金をいれたら、ボタンを押す※
- 10 金額を確認して、よければ「確認」ボタンを押す
- 11 通帳挿入口に出てきた通帳を受け取る
- 12 機械の前から移動して、通帳をしまう

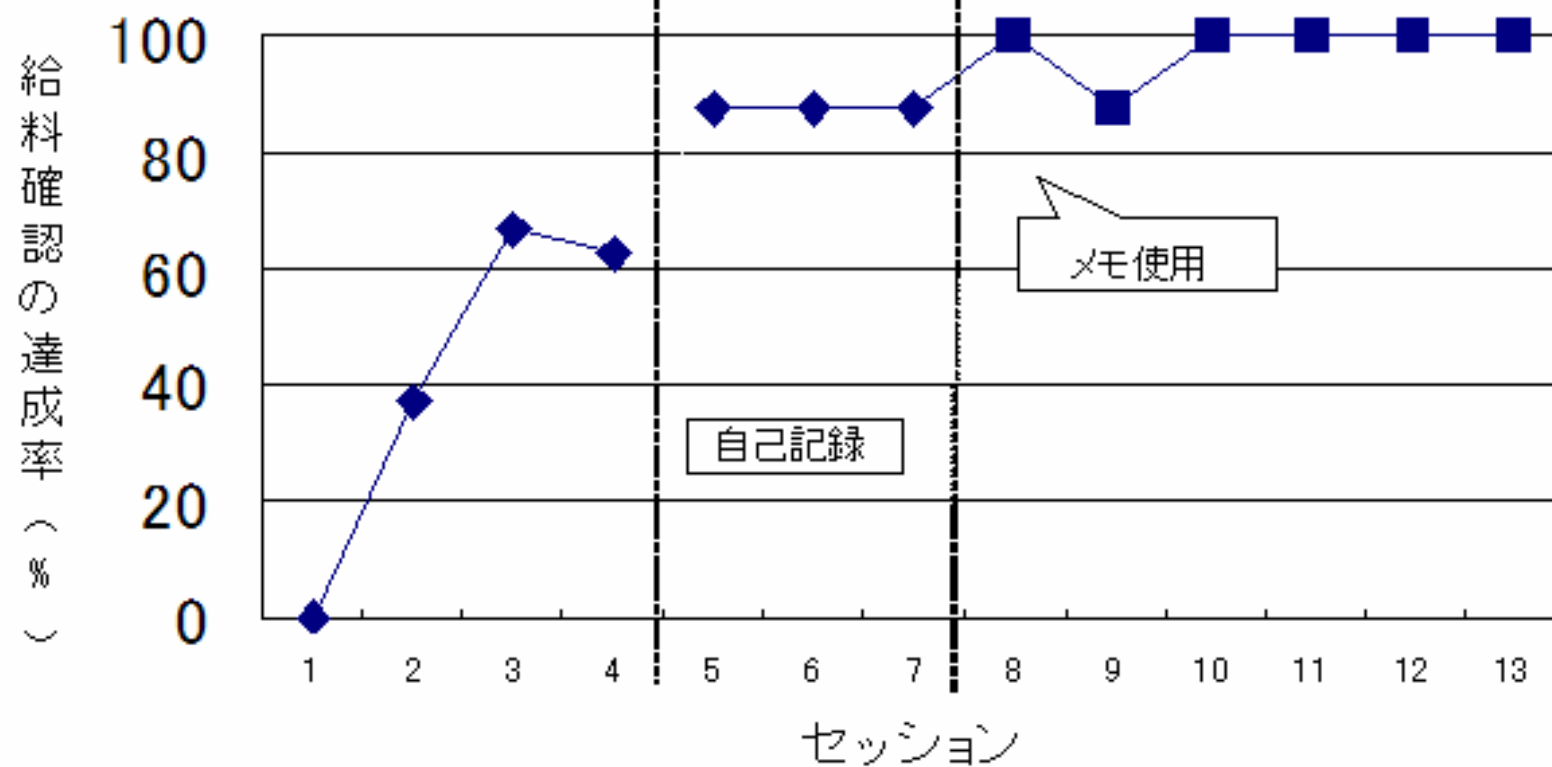


図1 1セッションごとの給料確認の達成率
 4セッションまでは「仕事の流れ」表を渡すのみ、4から7セッションは印をつけた。7セッション以降はメモを使用した。

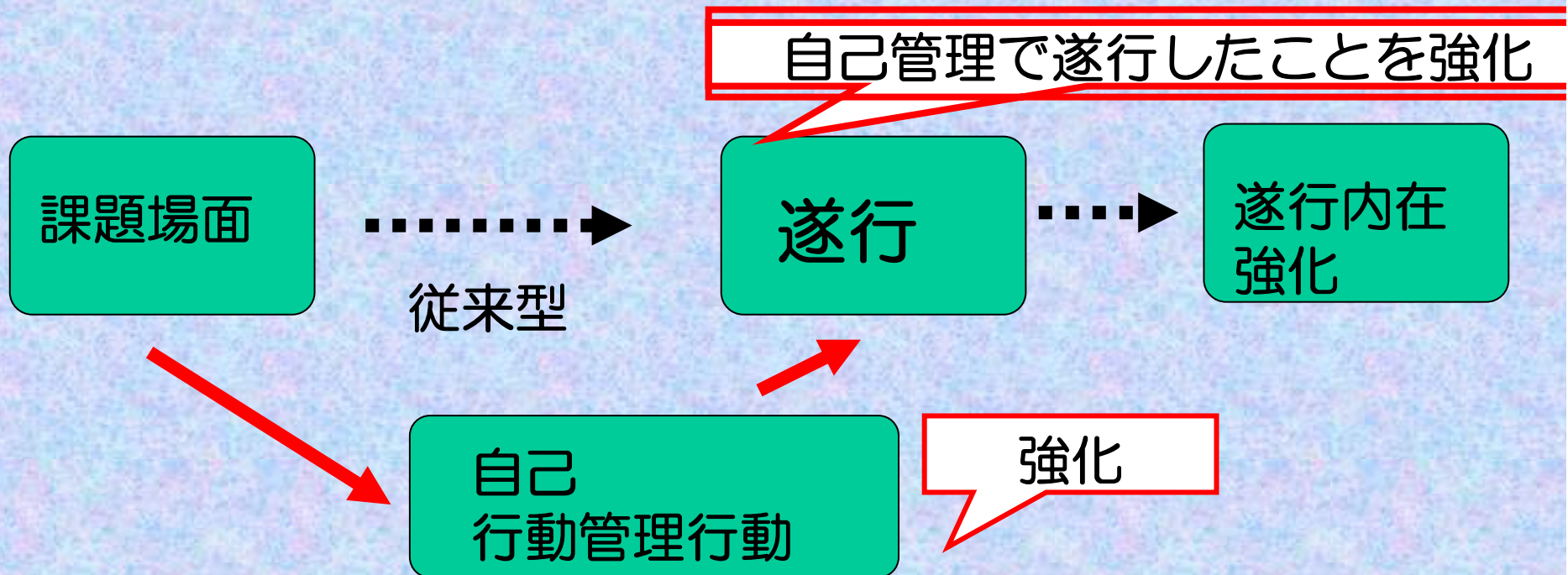
表2 ATM（預入）

- 1 先に客がいたらその後ろに並ぶ
- 2 通帳を用意する
- 3 お金を用意する
- 4 機械の前に立つ
- 5 「預入」のボタンを押す
- 6 通帳を挿入口に入れる
- 7 硬貨の場合は「硬貨」を押す※
- 8 紙幣（硬貨）挿入受取口が開いたら，そこに用意したお金を入れる
- 9 お金をいれたら，ボタンを押す※
- 10 金額を確認してよければ「確認」ボタンを押す
- 11 通帳挿入口に出てきた通帳を受け取る
- 12 機械の前から移動して，通帳をしまう

4. 自分のことは自分であるから楽しい

- なぜ楽しい？ KAIZEN=達成感による強化

大事なポイント：自己管理行動によって、「遂行内在強化」を得ることができるという「やったぜ感」を援助・教授すること



SJCの展開

- 定量的な「教授」「援助設定」の同定
「どれくらいで可能か」
「どういう援助があれば可能か」
企業は必要としている。
(援護活動としての展開が必要)